

今後、取り組む予定の対策

社名	内 容
a	(2017年度から随時実施) <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明更新 (2本社、3工場) ・空調機更新 (本社、1工場) ・省エネ型輪転機更新 (工場)
b	(2017年度) <ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯のLED化 ・個別空調機の洗浄による熱交換率の向上 ・エスカレーターの人感センサー化
c	<ul style="list-style-type: none"> ・本社ビルの照明をLEDに更新 (2017年) 事務室照明器具更新・照明器具 194台/フロアx2フロア=388台 一般照明 114台・特殊照明 27台
d	(A工場) <ul style="list-style-type: none"> ・外灯 (水銀灯10灯、1灯=400W) を高効率照明ランプへ更新。時期は未定 (B工場/2017年度) <ul style="list-style-type: none"> ・空調機器の運転時間の見直し ・空調機器の温度、湿度設定の見直し ・不要照明の消灯などの照明の見直し
e	<ul style="list-style-type: none"> ・更新期を迎えた照明および器具故障した照明のLED化 (順次更新のため長期的に継続中) ・老朽化した熱源機器・空調機の更新 (未更新のA工場、B工場について今後数年かけて1台ずつ更新)
f	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞製作用サーバーの更新およびクラウド化 (サーバー冷却用空調負荷の低減を含む) (2020年~2023年) ・印刷センター空調機更新 (2018年~2020年) ・無停電電源装置用の電源回路更新 (時期、詳細・省エネ率等は不明)
g	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク導入によるオフィスの省エネ (2018年度、省エネ効果は未定)
h	<ul style="list-style-type: none"> ・館内の蛍光灯 (直管型) を順次予算計上し、LEDに更新する (2018年度以降)
i	<ul style="list-style-type: none"> ・A、B、Cの3本社とも冷暖房の空調機器の温度調節をこれまで以上に徹底していく。A本社が入居するテナントビルの照明器具はLEDで統一。B本社、C本社でもLEDへの交換が進むと予想される。自社ビルではないため、当社の判断だけでは進めることはできないが、社員一人ひとりの省エネ意識を高める告知は継続していきたい。
j	<ul style="list-style-type: none"> ・LED照明の導入

社名	内 容
k	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に全館LED照明化を完了。 ・今年度より竣工後15年を経過した整備時期のファン、ポンプ等のモーターを高効率モーター（トップランナー仕様）へ順次更新を行う計画。また、効率および性能の回復を目的としたターボ冷凍機（2台）、冷温水発生機（10台）のフルオーバーホールを順次実施中（2017年～2022年計画）
l	<ul style="list-style-type: none"> ・共用部と事務室照明のLED化
m	<ul style="list-style-type: none"> ・本社ビル：未実施部分のLED化 ・工場：冷却水温度の設定変更を継続して実施
n	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備を更新予定
o	<p>(2017年～2018年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社の蛍光灯LED化 ・印刷工場の湿度管理見直し ・本社棟冷温水発生器を停止し、編集センター熱源で冷暖房を行う。
p	<ul style="list-style-type: none"> ・社内照明のLED化
q	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷工場の照明のLED化
r	<ul style="list-style-type: none"> ・照明器具のLED化による電力使用量削減（本社、印刷センター）
s	<ul style="list-style-type: none"> ・R22冷媒使用の老朽エアコン更新
t	<ul style="list-style-type: none"> ・工場で発生する損紙を製紙会社に売却し、新聞用紙に再生する「損紙クローズドループ」を2017年6月から始める。古紙の有効利用を図ることが可能
u	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ減量化への社員意識改革
v	<p>(A工場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCB蛍光灯安定器を荷姿登録し、JESCOによる処理連絡を待つ(2017～)。また、当該製品を長期間保管していたプラスチック容器の濃度検査を実施。低濃度PCBとして適法に処理 ・新輪転機購入の検討(2017～)：輪転機の更新を検討、紙面の品質向上と電力使用量の削減 <p>(Bビル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共用部流し台と温水器の更新(2017)：流し台と温水器の更新により、ビルの実情に見合った機械を設置し電力使用量の削減 ・会議室トイレ更新(2017)：節水型の便器を会議室トイレにも設置。水使用量の削減
w	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサー更新（2017年度～2020年度） ・マルチエアコン、床置きパッケージエアコン更新（2017年度～2020年度） ・照明LED化（2017年度～2020年度）
x	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電

社名	内 容
y	(2017年度) <ul style="list-style-type: none"> ・ A本社：役員室、1～4階廊下照明器具更新 ・ A本社：ターボ冷凍機冷却水保温追加工事 ・ B工場：紙庫天井照明器具更新
z	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空調機器の入れ換え（2017年7月） ・ 照明のLED化（2018年以降）
a a	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「A川を美しくする運動」の継続発展 ・ 損紙削減、リサイクルの推進
a b	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本社ビルのテナント企業に協力を得て、オフィスの照度を下げて業務してもらった。数か月後に感想を聞いたところ、照度を下げたことでの違和感はなかったとのこと。そのため今後、全社的に照度を下げていく予定
a c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2017年は本社ビルの熱源水ポンプ4台および温水ポンプ2台、電気室の大型エアコン3台の更新を行う。いずれも設置から20年以上経過しており、省エネ型の機器を導入する。また、印刷工場および本社ビルにおいて、照明器具をLED電球へ随時切り替え
a d	<ul style="list-style-type: none"> ・ LED照明への交換（2017年～2018年） ・ 空調システムの見直し（今後）
a e	<ul style="list-style-type: none"> ・ a e 新聞本社ビル全館LED照明化
a f	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明を従来の蛍光灯からLEDへ交換（本社ビル 2017年）
a g	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空調設備更新時に、積極的に省電力モデルを導入 ・ 照明のLED化（検討中）
a h	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植林事業 ・ 新聞古紙回収
a i	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明のLED化（時期は未定）
a j	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明のLED化の推進
a k	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンの室内洗浄や、耐用年数を迎える照明器具のLED化・省エネタイプの電灯への交換
a l	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高効率チリングユニット、変圧器の更新 ・ 照明設備のLED化
a m	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2017年度に給湯チラーを業務用エコキュートに更新予定
a n	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明設備のLED化（残りの蛍光灯を数年かけてLED化） ・ 古くなったトランスをトップランナー式のトランスに随時交換
a o	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器設備更新の際は、省エネ効率の高い機器を導入